

## 令和3年度 第2回 運営推進会議開催状況報告書

事業所名	でいさーびす さいさい			
開催日時	令和4年3月23日(水) 17時30分～18時30分			
開催場所	でいさーびす さいさい (富山市金屋2332)			
参加者	地域住民代表者	3名	知見者、民生委員等	1名
	利用者(家族)代表者	1名	事業所職員	7名
	行政職員	0名	その他(地域包括)	1名
議題	1. 事業所の現状について			
	2. 活動状況について			
	3. その他(新型コロナウイルス感染症に関するでいさーびすさいさいの対応について)			
<b>会 議 録</b>				
<b>&lt;第1号議案&gt; 事業所の現状について</b>				
・令和3年9月～令和2年3月の利用状況				
要介護度が上がるなどし、デイ利用からショートステイに変更したり入所が決まったりする人が増え利用人数が減った。現在は平均稼働率80%、平均介護度1.9				
要介護1、要介護2の方の利用が集中している。				
<b>ご意見やご質問</b>				
・職員は利用者何人に対して職員は何人なのか、介護度によって職員の人数は変わるのか。				
→人員基準はありますが、介護度によっての変更はありません。				
・定員は何名で認知症の方の割合はどのくらいなのか。				
一般の家庭浴槽のようだが入れなくなった場合はどうするのか。				
→定員は18名で、認知症の方の割合は4割程度。				
入浴は浴槽をまたげる人が中心で、またぐのが難しい場合は他のデイなどを検討していただきます。				
→利用や入浴に関しては要介護度や認知症の程度に影響はされません。利用の希望があれば可能な限り受け入れます。				
<b>&lt;第2号議案&gt; 活動状況について</b>				
・毎月の食事会や季節ごとのイベントを行っている				
・ボランティアについてはコロナウイルス感染症のこともあり、(梨雲苑宿直職員による)二胡の演奏のみ受け入れました。				

職員が出し物をすると思はれることも多く、1月には職員によるかくし芸や管理者による演奏など行っています。
<b>ご意見やご質問</b>
・ 義母が利用しているが、楽しんで利用している。一時期は塗り絵を良くしていたが最近はしていないようです、手の力が無くなってきのかなと思います。
・ 年をとると吸って吐く力が弱くなってくると聞いて自分も意識して吹き矢を始めた。
町内会もコロナウイルス感染症のことがあり、集まれないストレスがある。
→息を吸って長く吐くという事は大切なことで、さいさいでも機能訓練の一貫として「長息体操」という息を吸って長く吐くことを意識した体操を行っている。ストレスという言葉も出てきたがデイでは女性の利用者が多くお出かけや買い物に行けないストレスを解消できるかと思い、マルシェ（売店）を設置した。ちょっとしたお菓子やパン、レトルト食品を販売しており利用する方が増えてきている。
<b>&lt;第3号議案&gt; その他（新型コロナ感染症に関するでいさーびすさいさいの対応について）</b>
<b>ご意見やご質問</b> ※対応の詳細については下のまとめを参照。
・ デイが休みになりさいさいのありがたみを実感しました。入浴目的で利用している部分があり、自宅での入浴を試みたが大変だった。
・ 陽性になった利用者様は実は神明・五福地域包括センターで担当している利用者様だったが、入院前の検査で陽性が発覚し入院準備が整うまで自宅に戻らなければならなかった。そのあとの病院までの送りをどうするかなど悩んだが、さいさいの対応が早く、送迎もさいさいでしてもらい、また、自宅に戻った後の食事のこともマルシェから何か持っていきましようかと声をかけてもらい本当に助かった。保健所も連絡が付きにくい状況で本当に大変だったと思う。
→おっしゃった通りで、なかなか保健所との連絡が付きにくく対応が後手に回る部分もあった。職員2名の陽性の知らせを受けた時は日頃マニュアルや手順を確認しているつもりでも、実際このような状況になると心配も多く頭が真っ白になるような状態でした。理事長、施設長、副センター長、さいさい居宅の指示や協力のもと何とか乗り越えることができました。利用者様の感染もあったがそれ以上に広がらなくてよかった、と思いました。
→利用者様、ご家族様への負担がかかることもあり職員の気持ちもいっぱいになっていた。皆が協力しマニュアルで見ているだけではなく体験したことで対応が分かるようになったのではないかと思います。きちんとした対応をして安心して利用をして頂けるようにという思いだった。利用者様、ご家族様の受診時にさいさいを早く再開してほしいと要望が多かった。

## 新型コロナウイルス感染症に関するでいさーびすさいさいの対応について（まとめ）

令和4年2月22日（火）～3月1日（火）

- 2月22日（火）
- ・職員2名風邪症状あり、病院にてPCR検査を受ける
  - ・大事をとり翌日（23日）のデイは休苑とし、利用予定者に連絡をとる。
  - ・夜になり病院から連絡あり、2名とも陽性判定の結果
- 2月23日（水）
- ・職員2名の感染をうけ、デイは2月28日（月）まで休苑とする。
  - ・保健所、ケアマネジャー、利用者および家族に連絡する。
  - ・関わりのあった利用者の健康状態の確認、健康観察のお願いをする。
  - ・利用者のPCR検査希望の確認を行う。
- 2月24日（木）
- ・陽性職員以外の職員のPCR検査（居宅支援事業所職員も含む）実施。
  - ・PCR検査を希望された利用者2名あり。
- 1名は職員の送迎にて病院で検査を受ける。もう1名は自宅に検査キットを届けるも唾液が出せなかったため、家族送迎にて病院で検査を受ける。
- ・別の利用者家族より検査の依頼あり（2名）。
  - ・保健所に報告した結果、「濃厚接触者に該当する方はいません。すでに検査希望のある方のPCR検査を行っているのはすばらしい対応だった。不安のある方は県の無料のPCR検査を利用するといい」とのお話あり。
  - ・職員のPCR検査は全員陰性との連絡あり。
  - ・利用者2名のPCR検査は陰性との連絡あり。
- 2月25日（金）
- ・PCR検査希望の利用者2名を送迎し病院で検査を受ける。
  - ・包括、居宅の各事業所に現状を連絡する。
  - ・3月1日からは通常通り営業することも連絡。
  - ・利用者2名のPCR検査は陰性との連絡あり。
- 2月28日（月）
- ・持病の手術のため入院予定のあった利用者が入院前の検査で陽性であったとケアマネジャーより連絡あり。入院の必要があるが、盲目であり身内もないため入院準備のための一度ご自宅へ戻られることとなる。ご自宅から病院への送迎をデイ職員で行うことと対応する。
  - ・別の利用者も風邪症状にてPCR検査を受けたとの連絡あり（1名）。
  - ・保健所との連絡では「因果関係は分からないが濃厚接触者はいないので予定通り明日からの再開でも問題はない」との返事だった。
- 3月1日（火）
- ・デイ再開。
  - ・2/28に検査した利用者は、PCR検査は陽性との連絡あり。3月10日まで自宅療養される。